あすなろ

教育目標
自分の考えをもち　みんなとともに　向上しようとする子
〇かんがえる子　〇あたたかい子　〇きたえる子

学校だより　令和８年１０月２２日（木）

昨日の自分を超えた、心温まる「最後の運動会」

一日延期を経て開催された川上小学校最後の運動会は、恒例の打ち上げ花火の音とともに開幕しました。当日はご来賓、卒業生、保護者、地域の皆様を合わせ、200 名を超える方々にご来場いただき、温かな熱気に包まれた一日となりました。

個人競技の 50m 走や表現力豊かなダンスパフォーマンスに加え、今年初めて実施された地域種目の「綱引き」では、子供から大人までほぼ全員が参加し、迫力あふれる勝負が繰り広げられました。赤団の息の合った掛け声による逆転劇や、全員で輪になって踊った「川上音頭」の盛り上がりは最高潮に達し、地域が一つになる強い絆を感じることができました。

子供たちは出番や係の仕事に息つく暇もないほど動き回り、まさに「みんなが主役、昨日の自分を超えていけ」のスローガン通り、一人一人が主役として昨日の自分を超える輝きを見せてくれました。演技や競技が終わるたびに全員で「ありがとうございました」と感謝を伝える姿や、それに惜しみない拍手と声援を送ってくださる皆様の姿に、川上小学校の伝統であるあたたかさが溢れていました。

川上小学校としての運動会はこれで最後となりますが、この場所で育まれたかけがえのない思い出や地域の皆様との温かい絆は、これからも子供たちの未来へと確かに引き継がれていくことでしょう。これまで温かいご支援とご声援をいただきました皆様に、心より深く感謝申し上げます。

川上小学校最後の運動会　６年　Ｙ・Ｓ

私たち６年生は小学校最後、１～５年生も川上小学校最後の運動会でした。私はダンスリーダーとして、夏休みにダンスを考えました。でも、みんなの考えがわれてもう一度考えました。その結果、「スーパースター」に決まりました。練習ができる時間は少ししかありませんでしたが、みんなはすぐに覚えてくれ、一生懸命おどってくれてうれしかったです。

私は審判・採点係でもありました。１～４年生の競技の旗係と全校リレーのピストル係、最後の結果発表の担当でした。どれも忘れずに上手にできたのでよかったです。私がうれしかったことは、５０m走で２位になれたことと、全校リレーで少しＡさんにおいつけたことです。走ることは苦手な方だと思っていましたが、少し自信がつきました。くやしかったことは、玉入れで負けたことです。でも、楽しくチームそろってダンスをおどれたのでよかったです。

がんばったことは、ソーラン節とつな引きです。ソーラン節はこしを低く落として、大きな声を出すのをがんばりました。つな引きは相手チームが強くて、二回戦目からはもっと力を入れました。川上小学校最後の運動会は思い出に残り、いつまでも語りつがれていくと思いました。

感想（保護者）全校で取り組む競技は、高学年の子が中心となって低学年に優しく接している姿がたくさん見られました。いつも思いますが、川上小学校のよいところだと思います。ダンスパフォーマンスの後、先生の「写真撮るよ～」の声に、上級生が前列にいましたが、１・２年生に「前に行って～」と声をかけている姿があり、ちょっとしたことかもしれませんが、私は感動しました。自分がでない競技では、仲間をしっかり応援し、喜んだり、悔しがったり・・・児童みんなが楽しんでいる様子見られて、こちらもうれしかったです。

訂正とお詫び・・・先月の学校報で間違いがありました。訂正しお詫び申し上げます。

歌碑の写真⇒【誤】小畑美保さん（作曲者）【正】安藤（旧姓：小縣）和子さん（ご本人）作詞者

運動会の歌の制作年⇒【誤】昭和３５年頃　【正】昭和２４年（今年で７７年目となります）